

中小企業支援に全力

公明党横浜市会議員団は、昨年10月15日、景気低迷で中小企業を取り巻く状況が悪化していることを重視し、中田宏横浜市長に「中小企業金融支援に関する緊急申し入れ」を提出しました。

さらに11月17日には、市内企業への広聴・調査活動を行った結果をもとに「中小・小規模企業支援に関する現場視点からの要望」を提出し、緊急借換資金を中小企業にとつて利用し易い制度にすることなどを強く求めてきました。



緊急借換支援資金

横浜市は昨年12月15日から、中小企業向けの「緊急借換支援資金」をスタートさせました。申込期間は当面、3月末までを予定しています。この制度は、中小企業が借入金の借換えを行い、返済期間を延ばすことで月々の返済負担を軽くする仕組みです。

過去に横浜市の制度融資か、横浜市信用保証協会の保証付きで借入れた借入金があり、国が指定した698業種に属し、セーフティネット保証の認定を受けた市内の中小企業が対象となります。運転資金を用途に、8千万円を限度に借入れることができ、返済期間は10年以内、金利は年1.8%以内、保証料率は年0.8%です。

◎お問い合わせ

《経済観光局 金融課》

電話045(671)25662



公明党が提案した割引・無料サービス

「ハマハグ」子育て家庭応援事業

小学生以下の子どものいる方や妊娠中の方が、「ハマハグ」に協賛しているお店や施設で、授乳室などを利用したり、商品や入園料の割引・優待など、さまざまなサービスを受けることができます。

利用登録は、

パソコン、携帯電話からホームページにアクセス、または、郵送でも受け付けています。

アンパンマンの「ハマハグ」ステッカーが目印です。



【ハマハグ】ホームページ

<http://www.hamahug.jp/>

「濱ともカード」高齢者のための優待施設利用促進事業

65歳以上の方が濱ともカードを提示することで、市内外約400の協賛店で、商品の代金や施設の入場料などが割引や無料になるサービスを開始。例えば横浜美術館ではコレクション展が無料、中華街の協賛店では飲食代が1割引になります。

濱ともカードと協賛店が掲載されたパンフレットは、最寄の郵便局（平成21年3月まで）、区役所、地域ケアプラザ、老人福祉センターにて交付・配布しています。



山内図書館を視察

市立図書館の指定管理者制度の導入が検討されているため、昨年11月14日、市内地域図書館の中で登録者数や貸出冊数が多く、物流システムも充実している青葉区の山内図書館を訪問し、図書館の現状と課題について調査しました。

第4回市会定例会において、図書館の指定管理者制度導入を骨子とした横浜市図書館条例の一部改正の議案が出されましたが、慎重に審査すべきとして議案は継続審査となりました。本年の第1回定例会で引き続き審議されます。

